

2024/7/17

“岸田アプリ”QRの何が嬉しい？

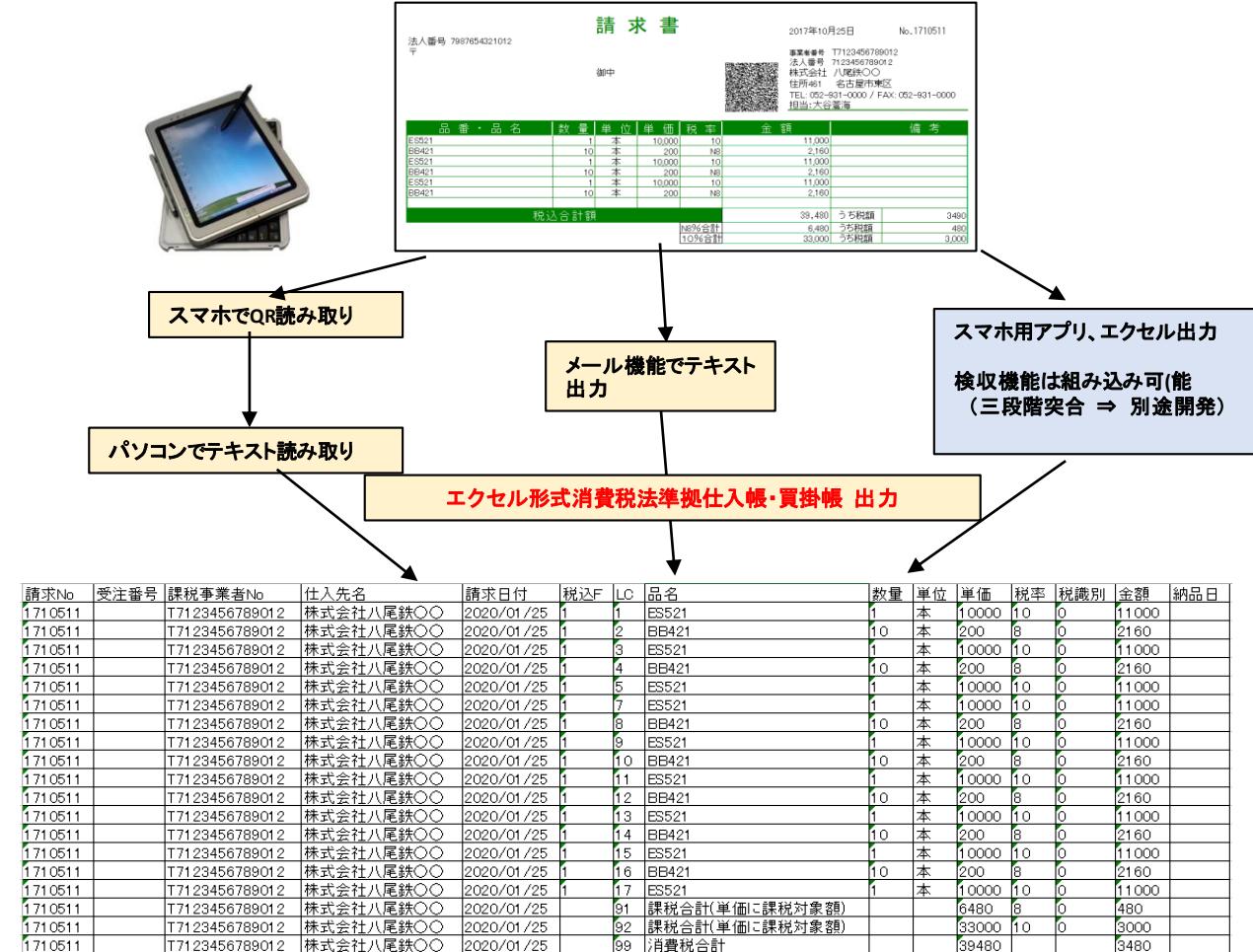
名古屋学院大学 名誉教授・税理士 岸田賢次

自分の事務負担が、それほど楽になるわけではない？ No!!

- ⇒先ず、スタートは、「BtoBの相手が大喜び、ワクワクする。」
- ⇒すると、相互の取引情報の品質が向上して、「お互いが得」の面的展開
- ⇒ 「三方良し」の原点と。月次バッチを小ロット化を堪能できる「QRコード」
(特許申請中)

無償提供：中部地区モデル(電子インプット前に Fax, 紙, 手入力からの解放を先行)

QRコード付き適格請求書を読み込み、税法要件を満たしたエクセル形式仕入帳・買掛帳出力



インボイス・消費税制をめぐる問題点

- それでなくても「オフィス事務負担」が3割増える。これだけは何とかしたい。
 - これを緩和するのにTDKほか市販のソフトも増えてきた。
 - (QR無しのままでも)それなりに事務負担は軽減する。
- ◎問題は、これだけで満足し、全く手つかずのままのオフィス事務の商習
慣 「月次バッチ」処理という「宝の山」に手つかず。
(現場はすでにリアルタイム化のDX化の時代はオフィスがボトルネック。)
- ◎対応策： BPと顧客の、1対1の対話から
「EDIはまだだが、ITがそれほど苦手でない、 Excelやパソコンに抵抗感の少ない
若手経営者に、BPによる伴走指導でわくわく感を堪能させ、
面的展開へ！ }

中小経営者が気付くべきこと： QRによる事務負担8割軽減と月次バッチ処理の小ロット化効果

通常仕入帳への記帳を考えますと

合計56文字（月日4文字、品名10文字、摘要10文字、単価7文字、数量3文字
金額8文字、税率4文字）位は、手作業で転記か、キー入力している。

- ⇒ 1伝票6行とすると伝票書き写しに5分から7分、キー入力で2~3分。
- ⇒ これがQR読み取りで2秒、データメール転送は1秒、システム起動に3秒、仕入データ出力3秒で済みます。つまり、10分から2分に1/5で済む。

余分の時間は、書き写しより付加価値の大きい、楽しい仕事ができる。

- ⇒ 「月次バッチ」の商習慣が、日単位、伝票単位に短縮され、BtoBの力ネの流れと資金繰り、そしてBtoBの連携もさらに良くなります。理屈だけではピンとこないかも知れませんが、実際にやってみた皆さんからは、異口同音、素晴らしいワクワク感！

請求書作成側は「自分の手間が増えるだけ」と考えずに
「結局は自分も得する」ことを理解する。

- ◎ BtoB連携で考えると「データの受取側」の帳簿への転記ないし再入力の時間が大幅に圧縮されることでワクワク。
 - ⇒ 自分よりも先に、相手が大喜びすると、BtoBのカネの流れが速まり、国の税収もアップ。国はこれを海外や資本市場ではなく、民間経済への投資に回せば、長期デフレ脱出の開始。
 - ⇒ 受け取ったデータは電子化できるので、後の確認やデータ分析など即座に行うことができ、DADCやEDI、“デジタル田園都市国家”につながります。